

ガンコ親父の

松次郎は4月になると、いつも新入社員時代のことを思い出してしまう。

その日は同期入社の人と二人して、上司から急な残業を命じられていた。二人は残業を始める前に、近所の中華料理屋で夕食を済ますことにした。友人は炒飯を頼張りながら「あの先輩、若い者を見つけると、良く残業を命じるらしい。若いうちは苦勞を買ってでもせんといかんぞ、とか言いながら書類を渡すらしい。実に嫌なタイプかも」と松次郎に言った。都合の良い人生訓なんかを持ち出して、自分の仕事を部下にさせているのかもしれない。と、松次郎は警戒をあらわにした。

「こんな書類整理、みんなで手分けすればすぐに終わるのに。何も僕たちだけに任せなくても」とデートをキャンセルした友人は愚痴った。さらに「若いもんはだけやらせて、頭にくるよ。理不尽だ。若いもんは若いもんなりにイロイロと用があるんだけ」と、松次郎たち二人の新入社員は口を大きくとがらせた。

奄美黒糖焼酎

何回もそうだった。残業が続いた後、お役御免になるかと思いきや、今度は大きな仕事を受注できたとかで、会社全体が派手に忙しくなりました。友人はさらに「デートができない状態になっちゃって、本格的に悩んでいた。友人のことを思い、上司に残業のことで抗議しようと思った。上司は松次郎も、半端ではない忙しさに、それどころではなくなっちゃった。」

ある日の夕方、出張から帰ってきた友人はいつもの中華料理屋で、炒飯をかきこみながら松次郎に言った。「今日、得意先の部長に『君は若いのによくわかってるな』と褒められたんだ。友人は残業で書類を整理させられ、その内容を新しい書類に書きこむ作業が、結果的に営業現場での知識として役に立った、と言った。」

その時、店に入ってきたその上司が松次郎の背中をポンと叩いて、「いつもすまん、今日の炒飯は俺のおごりだ」と言った。松次郎たちはあつけにとられた。「さっき、得意先から電話があったんだが、お前のこと褒めてたぞ」と上司は友人に向かった。友人はポリポリと頭をかいて顔を赤らめた。

松次郎の脳を電気ショックが襲った。もしや、この上司は書類整理が新人教育の役に立つことを知っていて、残業を命じたのかも知れない。そして、絶妙なタイミングで炒飯をおごってくれた。かっこよすぎるんじゃないか、この上司は。話がすすぎすぎている。若い松次郎は確実に一本取られたような気がした。

そんな先輩が、この春、長い仕事人生に終止符を打った。退職の前日、あの日におごってもらった同じ「炒飯」を3人でかきこんだ。そして、松次郎は友人とともに感謝の気持ちを込めて先輩に「しまっちゃん伝蔵」を贈った。

先輩は少し寂し気な表情を見せはしたが、「後は頼むぞ」と最後の命令を下した。「後は頼むぞって、お前たちももう還暦過ぎだったな」と、無理して笑って見せたが、その目は涙であふれていた。感謝。



しまっちゃん
伝蔵
でんぞう
常圧蒸留

昔ながらの手造り こだわりの焼酎

喜界島の豊かな大地の恵と豊かな自然の中で、永年の伝統に受け継がれた製法でじっくりと醸しあげた「しまっちゃん伝蔵」黒糖焼酎の味を全面に出し昔ながらのコクのある味と香りです。



2014年春季全国酒類コンクール・黒糖焼酎部門第1位受賞

25度
好評発売中



喜界島酒造株式会社
鹿児島県大島郡喜界町赤連296番地12
TEL 0997(65)0251

2009年10月喜界島は「日本で最も美しい村」連合に選ばれ、加盟しました。喜界島酒造は、この活動を応援しています。



the most beautiful villages in japan
喜界町 鹿児島県

上司に乾杯!

<http://www.kurochu.jp> お酒は20歳になってから。お酒は楽しく適量を。飲酒運転は法律で禁止されています。妊娠中や授乳期の飲酒はお控えください。